



# 行政書士しが

発行所 滋賀県行政書士会  
 発行人 盛武隆/編集人 古川論  
 所在地 滋賀県行政書士会館  
 〒520-0056  
 大津市末広町2-1(JR大津駅前徒歩1分)  
 TEL(077)525-0360・FAX(077)528-5606  
 E-mail: shigakai@gyosei-shiga.or.jp  
 URL: http://www.gyosei-shiga.or.jp/



彦根城の冬(びわこビジターズビューロー提供)

# 謹賀新年

平成二十四年 元旦

滋賀県行政書士会 会長 盛武隆  
役員一同

## 新年あけまして おめでとうございます



滋賀県行政書士会 会長  
盛武 隆

会員の皆さま、補助者、ご家族の皆さま、新年明けましておめでとうございます。今年も「辰」は、はまぐり(蜃)のものと「刊」によれば「辰は、はまぐり(蜃)のものと」で、貝が足を出して動いている形で、動くの意味がある」とあります。また仏教の世界では、釈迦が生まれる際、2匹の龍が守ったという説話があり、日本ではこの信仰をより庶民化するために辰龍の字をあてたともいわれています。

最近のネット社会では、はまぐり(蜃)は海上に蜃気楼を創り出すとも言われていることから、携帯端末でつながれた「蜃気楼の街」を仮想することを表わしてもいるようです。

昨年を振り返りますと、連続した自然災害、経済や社会の変動がありました。

本年が世界中の人たちが復興を目指して活動していく「復興元年」にふさわしい年、それが辰年と重なったことに輪廻転生の世界を強く感じます。

本年、行政書士会は、「官民からの業務受託」という経済的活動に踏み出し、行政書士は「不服申立代理権獲得のための法改正」という政治的活動を国民に求めます。当然ながら国民からは行政書士の資質向上、倫理、法令順守そして社会貢献等が求められます。

こんにち、我が国では高齢化社会あるいは無縁社会ともいわれる国民社会のいるような場面で、「寄り添う」、「向かい合う」という言葉が多用されています。人と人との「絆」が求められています。言葉をもてあそぶつもりはありませんが、「人」の文字が支え合って成り立っている文字だと読み取れば、全ては「人」が原点だと感じることが出来ます。

武田節の一節にも「人は城、人は石垣、人は堀、なすけは味方、あだは敵なり」とあります。これを行政書士の世界に転じれば、「行政書士会は人、人は会員、人は国民」ということにもなります。

近年では、文字とりわけ漢字の持つ歴史、意味をより平易化、簡素化する傾向がありますが、人、行政書士の文字の意味するところを噛みしめつつ、行政書士のあり方を求め、その実現をめざし、本年が会員の皆さまの全ての願いが「立つ年」でありますようにお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。